

# 生活の柄

詩：山之口獏

歩き疲れては  
夜空と陸との隙間にもぐり込んで  
草に埋もれては寝たのです  
ところ構わず寝たのです  
歩き 疲れては  
草に埋もれて寝たのです  
歩き疲れ 寝たのですが  
眠れないのです

近ごろは眠れない  
陸をひいては眠れない  
夜空の下では眠れない  
ゆり起こされては眠れない  
歩き 疲れては  
草に埋もれて 寝たのです  
歩き疲れ 寝たのですが  
眠れないのです

そんな僕の生活の柄が  
夏向きなのでしょうか  
寝たかと思うと寝たかと思うと  
またも冷気にからかわれて  
秋は 秋は 浮浪者のままでは眠れない  
秋は 秋からは  
浮浪者のままでは眠れない

歩き疲れては  
夜空と陸との隙間にもぐり込んで  
草に埋もれては寝たのです  
ところかまわず寝たのです